

## 第6回南砺市子ども子育て会議 会議録【要点筆記】

1. 開催日時 平成27年1月30日（金） 午後7時～8時36分
2. 開催場所 南砺市役所福野庁舎 2階 201会議室
3. 出席者 委員16名  
西井会長、長谷川副会長、荒岡委員、磯辺委員、沖田委員、鴨野委員、木戸委員、久恵委員、島田委員、田中委員、土居委員、中川委員、中島幸子委員、中島純子委員、村田委員、横山委員  
事務局（子育て支援室・こども課・健康課保健センター・教育総務課）8名  
杉村民生部長、武田こども課主幹、中原保健センター所長、笠井教育総務課副主幹  
中山子育て支援室長、山田副主幹、高野主任
4. 欠席 委員4名  
梅本委員、齋藤委員、松田委員、山本委員
5. 傍聴人数 0名
6. 議題 (1) 保育園・幼稚園・認定こども園利用者負担について  
(2) 計画書修正案について  
(3) 愛称（サブタイトル）について

開会 午後7時

会長あいさつ

### 【会長】

平成25年の11月に第1回目が開かれた。今回は第6回目を迎え、最後の会議となる予定である。今回の会議では計画の最終案、利用者負担額の案、プランの愛称について検討したい。

今年度から子育て支援新制度が実施されることになり、国でも保育と教育の質と量の改善を目指していきたいとしている。

幼稚園教員や保育士の待遇改善、配置基準の見直しについても今後は期待し見守っていきたいと思う。

議事

(事務局)

欠席の委員、資料の確認 会議の公開について説明。会議録の公開について説明。

### 【会長】

愛称についてはひとり2点選んでいただきたい。

協議事項 (1) 保育園・幼稚園・認定こども園利用者負担について

(事務局)

資料1-①～④について説明する。

現在は高岡市が利用者負担額を示しているが他の市町村はまだ様子見の現状である。  
現在の案であり、国や市の予算編成や関係条例等を鑑みて3月には確定する見込みである。  
資料1-②について説明

1号認定、2号認定、3号認定の定義、保育利用時間について説明。

保育認定（2・3号認定）の利用者負担額については、所得税ではなく市町村民税をもとにして負担額を設定する。また、従来と負担額が激変しないように、不公平にならないように、また利用する施設によって負担額に差が生じないように、検討した。第2,3階層と13階層については、県内では一番安い徴収基準となっている。

前回は11階層区分で示したが、均等割の課税世帯を考慮し、第3階層を増やした。また、第8階層及び第9階層を細分化して設定し、階層ごとの差額が大きくなるよう配慮した。また、どの施設を利用しても同じ利用者負担額となる。

教育標準時間（1号認定）における利用者負担額は、国の案に基づき所得に応じた設定とする。施設形態を問わず、同一の負担額を徴収することとする。1号認定については、給食費が発生するが、2～4階層の世帯については、市が基準とする給食費4,600円を基に階層に応じて控除している。市単独の軽減事業も重複軽減はしないが、現在検討しているところである。

#### 【会長】

現在の説明についての質疑

多子家庭には保育料の減免が手厚くなっているということが示されている。予算的な折衝はどうなっているのか。

(事務局)

予算の実質的な調整は済んでおり、後は議会で説明をし、議会での議決が必要である。

#### 【会長】

この会議での意思として、減免措置を通していただきたいということをお願いしたいと思う。

次に子ども子育て支援事業計画の修正案について、説明をお願いしたい。

(事務局)

資料は2-①を参照。

P16 図1.1 他計画との連携において、計画の中に、「南砺市教育振興基本計画」を追加。

子どもの人口の推計値の変更によりニーズ量を変更したもので先日資料を送付したものを含めて説明する。また、先日の会議でご意見をいただき、訂正した箇所について、説明する。

P15 計画の趣旨について、表現を端的にまとめた。

P24 図2.8 グラフの読み取り方について、設問の記載者のとらえ方によって実態と結果が正しく反映されていないというご意見もあり、「施設を含む」と記載したこと、複数回答ありと説明を追加した。

P37 計画の基本理念について、一行目を訂正した。「南砺市」と記載してあったものを「当市」と変更した。

P45 文章の訂正、イラストを削除した。 前回の P46 と合わせて 1 ページとした。

P47 子どもの人口の平成 26 年度の実績値に合わせて、平成 27 年度以降の数字やグラフについて数値を変更した。コーホートセンサス変化率法について注釈を追加した。

P50～53 提供量の表し方について、県の指導を受けて、表は市内と市外に分けて、市外分については「参考」として表した。

P53～ 地域型保育事業の(1)～(4)の各保育事業について、それぞれの現況と課題について、説明文を追加した。

P59 一時預かり事業について、1号認定と2号認定の転記ミスについて訂正。

P60 従来有病後児保育事業等について、新制度の用語では「病児保育事業」と表現しているが、表 4.15 の下に注釈を加えた。

P64 妊婦健康診査について、タイトルと内容が合っていないということから、表の中に受診率を追加した。また、確保策の中に受診率の向上について追加した。

P68 現況と課題の4つめについて、表現を訂正した。

P70 施策の④の二つ目について、文章を二つにした。

P74 施策②子どもの目からみたまちづくりの推進について、城端線とバス運行時刻の接続状況の改善という文を追加した。

P79 子育て支援センターの利用者が少ないという現状で、支援センターの周知不足が課題となっている中での取り組みとして、31年度に向けてPR活動による利用者の拡大と子育て相談の継続実施を記載した。

P92 次世代の親の育成について、課題に対する施策がないという前回のご意見から婚活支援事業を追加した。

P99 施策⑤の安全・安心まちづくりの推進等について、「防犯カメラの設置の推進」を追加した。

この内容で、平成 26 年 12 月 19 日～平成 27 年 1 月 7 日までパブリックコメントを実施したが、意見は寄せられなかった。1 月 19 日に議会の協議会での協議の結果、出された意見を資料 2-②にまとめた。

議会が出た意見について、案を作成し、赤字で修正した。

P15 南砺市民が少子化の進行について、もっと危機感をもってほしいという意見から赤字の部分を追加した。

P34 課題そのものを5つに絞り込めるのか、第4章で課題を記載しており、この「本市における課題の整理」が必要なのか、課題1について、仕事と子育ての両立に対する負担ということよりも、子育てに対する経費の負担感が大きいのではないのか、課題のまとめ方や表現の仕方について検討をいただきたいという意見があった。

以上の意見をふまえて、ニーズ調査から見えた「経済的な負担」を課題の2として追加した。課題1と課題5については、南砺市の現状を記載した。全体の構成としては、課題の整理は必要と考えて、議会からは不要という指摘もあったが記載する。

P42 施策の体系図について、次世代育成支援行動計画になかった目標や施策はわかりやすいように字体を変えて記載した。

P50、52 自由記載や意見が多かった城端地区に幼児教育の場がなかったという文言について、地区が特定されるような文はふさわしくないという意見もあり、P30 のニーズ調査における幼稚園利用の意向などの数字を記載した。

P106 計画の点検と評価について、第4章だけではなく、第5章の点検評価を実施することを記載した。

以上のような事務局案でどうか、ご意見をいただきたい。

**【会長】**

前回の意見を反映させたものが資料の2-①、議会からの意見をいただいた上での事務局案が資料の2-②である。両方について意見ををお願いしたい。

**【副会長】**

2-②は差し替え案となるのか。

(事務局)

みなさんの同意が得られれば、差し替えしたいと考えている。

**【会長】**

議員さんの意向として、少子化をくい止めたいという色を出したいという思いがあり、2-②についてはそのような部分が強調されている文言となっている。特に主旨から外れているということがなければそれでいいのではないかと思われるが、みなさんの意見はいかがか。

**【副会長】**

2-②について、どういう主旨でこのような資料があるのかが分からなかった。第5回目の案と随分と内容が変わっているので、やや混乱している。このような案を出されるのであれば、4回目の会議で提示があればよかったのではないかと思う。

**【会長】**

P52 の現況と課題について、3つ目は削除するということが事務局案であるが。

(事務局)

先程の説明にもあったが、地域が限定されるような表現はふさわしくないと考え、ニーズ調査の結果の認定こども園の利用意向を記載することとした。

**【A 委員】**

P24 の図 2.8 について、幼稚園へ通っているこどもが非常に少なく、幼稚園が要らないということにならないか心配である。

(事務局)

この質問の内容が複数回答ありという問いかけであり、答える人のとらえ方に左右されると思われる。

【会長】

その他ご意見はいかがか。

【副会長】

冊子のレイアウトについて、ページの上部にある星型の帯とその上に記載される字の間隔が狭いので、もう少し間隔を開けるほうが見やすいのではないか。

【会長】

レイアウトについてご検討ください。

【会長】

P45 について、「第4章子ども・子育て支援の事業展開」の下の2行について、あえて説明することは必要か。特に反対がなければこの2行について削除をお願いしたい。

(事務局)

削除いたします。

【副会長】

P42 の施策体系図について、基本目標Ⅱの主要施策1、施策の方向の(2)について「子育て支援のネットワークづくり」と思われるが、「ト」が抜けている。他のページにも同じ表があるので、またご確認いただきたい。

【会長】

2-② P34 の課題5について、二行目の「～合計特殊出生率も全国平均を下回っています」とした方がよいのではないか。

(事務局)

訂正いたします。

【副会長】

2-①の P32 施策の進捗評価について、停滞している事業について「地域の高齢者の子育て支援体制づくり」とあるが、「地域の高齢者等による子育て支援体制づくり」という意味ではないか。

(事務局)

この言葉については、次世代育成支援行動計画から引用している。今回の計画ではこの事業について

は名称を変更しており、P77の下から2段目、「地域の子育てボランティアの支援体制づくり」という名前に変更した。

この部分は前の次世代育成支援行動計画の進捗評価であり、名称はそのままであるが、内容は変更したもので記載した。

**【会長】**

他に何かご意見は。

**【委員 A】**

P49の表4.5の単位ですが、「人日」というとらえ方について、1日あたりの利用人数というとらえ方でいいのか。

(事務局)

この表現については国が示している表現の方法であり、確認の上注釈を加えたいと思う。

**【副会長】**

P105の2 関連機関や地域との連携の項で、1行目の「市単独の力だけでは限界があり」という文章は不要ではないか。

(事務局)

削除します。

**【会長】**

その他ご意見はありますか。

**【委員 A】**

P47の表4.1について、子どもの数は減少しているということであるが、年齢を追って見ていくと、例えば平成26年度0歳児が平成27年度の1歳児になると増えている。これは計算式に当てはめるとこのような数になるのか。

(事務局)

注釈にもあるが、計算することでこのような数値が出てくる。転出入もあるので、減少といいながらも、増えるような年齢層も出てくると考えられる。

**【副会長】**

P73の一番下の表について。平成27年度から児童館の運営は指定管理制度へ移行すると聞いている。この表し方だと、城端児童館だけが指定管理制度へ移行するというようにも読み取れるので、表現の仕方についてご検討いただきたい。

(事務局)

またわかりやすい表現となるよう、検討いたします。

【会長】

いただいたご意見をまた事務局でご検討をよろしくお願いいたします。

(事務局)

計画書の表紙について、森みち子さんのイラストを入れたいと考えている。資料2-③については、序章や第1章等のページにある星型の入った枠をデザインとしてあしらったが、枠がないデザインがいいのか、みなさんのご意見をいただきたい。

【会長】

表紙についてどちらがよいか。

【副会長】

2-③の縦のラインの星の模様は入るのか。

先日市から配布された冊子で似たようなものがあり、紛れてしまうとわからなくなるので、縦のラインの星の模様はあったほうがいいのか。

【会長】

表紙の枠の星の模様は外せばいいのではないか。

(事務局)

2-③の案で、左上と右下の星はなくし、枠は残すということによろしいか。

【会長】

枠があるとサブタイトルとのバランスが難しくなるのではないか。

デザインについては、事務局に一任によろしいか。

(事務局)

事務局でまた検討いたします。

【会長】

サブタイトルについて、上位3つがホワイトボードに示してある。7票が一番多いが、本日の参加者が16名なので、過半数は得ていない。

過半数を得てサブタイトルを決定したいので、上位3つ（なんとっ子すくすくプラン、のびのびなんとっ子プラン、なんとっ子すこやかプラン）について1回限りの挙手で再投票をしたいと思うがいかがか。

【会長】

表記の仕方について、すべてをひらがなで表記するか、漢字で表記するのかご意見はいかがか。

【委員 B】

最初に「南砺市」と漢字で書かれているので、サブタイトルのなんとはひらがなの方がいいのではないかな。

【委員 C】

南砺の子という意味では漢字の方が分かりやすいが、サブタイトルとしてつけるのであれば、なんとはひらがなの方がいいのではないかな。

【会長】

ひらがなの意見が多いので、南砺はひらがなで表記することとしたい。

それでは挙手でお願いしたい。

なんとっ子すくすくプランがいいと思われる方 12 票

本日の参加者の過半数を超えたので、「なんとっ子すくすくプラン」に決定する。

概要版について、説明をお願いしたい。

(事務局)

資料 3 は、概要版についてのたたき台である。アンケート調査をしていただいた保護者や子育て支援施設に配布したいと考えている。全国的にも 4 ページから 8 ページの概要版を作成しているところが多い。どうしても入れたいという項目をお聞かせいただき、内容については事務局に一任いただければと思うがいかがか。

【会長】

概要版については、このような項目を入れてほしい、このような項目は不要であるということをもっと聞かせていただきたいと思う。概要版は 8 ページとなっているが、もっと少なく、簡潔にというイメージがあるが。

事務局が説明する際にも A3 1 枚程度にまとまっている方が説明もしやすいのではないかなと思われるが、いかがか。

細かいデータが本当にいるのかな。

【副会長】

概要版はこれを手にとって、自分たちがどのように子育てに携われればいいのかということがわかればいいのか。特に資料 3 の P5,6 の「家庭類型別児童数の算出」や「教育・保育事業のニーズ量見込み」のデータは、そんなに繰り返して見る必要があるデータではないと思われる。地域でのそれぞれの人々が果たす役割が分かり、どのように育児へ参画するのか、ということ伝えることが必要ではない



か。

**【会長】**

概要版には、資料2-①P42の施策体系図が入るべきではないか。

その他ご意見はいかがか。

リーフレットは、見やすく、インパクトがあり、簡潔なものをお願いしたい。

その他についてはいかがか。

**(事務局)**

概要版についてはまた見やすく簡潔なものを作成していきたいと思う。

その他については、今後の予定については修正案を訂正し、3月末には印刷をかけたいと考えており、委員のみなさんにも配布する予定である。

委員のみなさんの任期は平成27年の3月末となっている。また平成27年度には新たな委員を選出し、子ども子育て会議を開催する予定である。

概要版については、市内の子育て関係の施設等に配布する予定である。

この計画について、計画が遂行されているかどうか点検することが必要になってくるのでこども子育て会議は継続していく。現在も公募の委員が4名いるが、また新たに広報等を通じて公募をする予定である。現在されている委員のみなさんにも引き続いて委員をしていただければと考えている。

**【会長】**

今回の会議を以て、わたしたち委員の任期は終了となる。事業計画書の案づくりに携わり、時間と労力を要したが、南砺市の子どもたちがすくすくと育つよう願いを込めて検討して作成したと思っている。議事の進行にはみなさまにご協力をいただき、ありがとうございました。

この計画がきちんと実現するよう、事務局の努力も必要ではあるが、委員のみなさんもそれぞれの立場の代表として参加しているので、それぞれの立場から参画をお願いしたい。

**【副会長】**

みなさんお疲れさまでした。案についてはそれなりにいい形になったのではと思う。

子どもたちの育ちをいろんな立場で見守っていきましょう。今後ともよろしく願いいたします。

**(事務局)**

平成25年の9月議会でこの会議の設置を条例で定め、今まで長い時間をかけて検討いただきありがとうございました。今後もこの計画がどのように遂行されているのかという評価が必要である。この会議は今後も継続して年2回程度開催する予定である。

今後は結婚、妊娠、出産から教育まで切れ目のない支援を目指している。今後もみなさんのいろんな意見をお聞きしながら施策に反映させていきたいと考えているので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。長い期間にわたり、お疲れさまでした。

終了 午後8時36分